

立命館大学 オンラインシラバス / Ritsumeikan University Online Syllabus

科目名・クラス / Course title, Class	開講期間 / Term	曜日・時限(*1) / Day of the week, Period	単位数 / Credit	担当者名 / Instructor
基礎機能解剖論 (V) (副)生体機構論 (F1) 生体機構論 (AI)	前期	前期 木 3(5-6)時限	2	篠原 靖司
Functional Anatomy (V) Biomechanics of Human Movement (F1) Biomechanics of Human Movement (AI)	Spring	Spring THU 3(5-6)Period		SHINOHARA YASUSHI

*1:時限は「文社系(理系)」で表記しています。

*1:Period number outside the brackets is that for arts and social science students and within the brackets is that for science students.

授業の概要と方法 / Course Outline and Method		
このクラスは『運動』の基本となる身体の構造と機能に関する講義を行う。身体には骨、関節、腱、靱帯、筋、神経が存在し、これらが運動して機能することにより『運動』が起こる。すなわち、『運動』を理解する上で身体構造の基本的な用語と機能の習得は必要不可欠である。本講義では、人を対象とした運動、トレーニング指導を適切かつ合理的に行うための最も基本となる身体の構造への理解を深める。		
受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives		
身体の構造と機能を理解し、機能解剖学的視点をスポーツや運動の指導に活かすことができるようになる。		
事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Course		
スポーツ健康科学		
授業スケジュール / Course Schedule		
テーマ / Theme		
キーワード・文献・補足事項等 / Keyword, References and Supplementary Information		
第1回：講義の導入、進め方の説明 【キーワード・文献・補足事項等】総論 機能解剖学とは？ 第2回：身体の構造1(骨、関節) 【キーワード・文献・補足事項等】骨の名称、骨の構造、関節の名称、関節の構造 第3回：身体の構造2(筋) 【キーワード・文献・補足事項等】筋の名称、筋の構造 第4回：身体の構造3(腱、靱帯) 【キーワード・文献・補足事項等】腱の名称、腱の構造、靱帯の名称、靱帯の構造 第5回：関節の運動 【キーワード・文献・補足事項等】関節運動の理解 第6回：上肢1(肩) 【キーワード・文献・補足事項等】肩関節の構造と機能 第7回：上肢2(肘) 【キーワード・文献・補足事項等】肘関節の構造と機能 第8回：上肢3(手) 【キーワード・文献・補足事項等】手関節の構造と機能 第9回：体幹・下肢1(膝) 【キーワード・文献・補足事項等】膝関節の構造と機能 第10回：体幹・下肢2(足関節) 【キーワード・文献・補足事項等】足関節の構造と機能 第11回：体幹1(骨盤・股) 【キーワード・文献・補足事項等】骨盤・股関節の構造と機能(1) 第12回：体幹2(骨盤・股) 【キーワード・文献・補足事項等】骨盤・股関節の構造と機能(2) 第13回：体幹3(脊椎) 【キーワード・文献・補足事項等】脊椎の構造と機能(1) 第14回：体幹4(脊椎・胸郭) 【キーワード・文献・補足事項等】脊椎の構造と機能(2)、胸郭の構造と機能 第15回：総括 【キーワード・文献・補足事項等】まとめ(骨、筋、関節)		
授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study		
【授業外学習の指示】 授業内で学んだことを予復習すること。 【授業の方法】 講義		
成績評価方法 / Grade Evaluation Method		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) / End of Semester Examination	50 %	身体の構造、機能についての基本的な用語および運動に関わる基本的な理解にもとづいて評価する。
	0 %	

レポート試験 / Report Examination (統一締切日を締切とするレポート) (A report to be submitted by the standard deadline)		
上記以外の試験・レポート、平常点評価 Exams and/or Reports other than those stated above, and Continuous Assessment	50 %	授業への姿勢、発表、質疑応答、小テスト(計4回行います)。3分の2以上の出席が評価の対象となります。
備考 / Note		
受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods		
身体に関心をもち、身体の動きを観察しておくこと。解剖用語については自らの身体を使って覚えるようにすること。		
教科書 / Textbooks		
備考 / Note		
特になし		
参考書 / Reference Books		
書名・著者・出版社・ISBNコード・備考 / Title・Author・Publisher・ISBN Code・Comment		
『身体運動の機能解剖学』中村・竹内 翻訳 医道の日本社 978-4-7529-3063-1 『カバンジー機能解剖学』塩田悦仁 翻訳 医歯薬出版 978-4-2632-1340-7 『Kinesiology of the Musculoskeletal System: Foundations for Rehabilitation』2e Donald A. Neumann PhD PT FAPTA Mosby 978-0-3230-3989-5 『プロメテウス解剖アトラス』坂井・松村 監訳 医学書院 978-4-260-00239-4		
備考 / Note		
参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference		
授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)		
manaba+R / Learning Management System (manaba+R) 学生との直接対話/Talk with Students 「その他」が表示されている場合は、連絡方法の詳細があります。受講登録をしている学生のみ、この授業のmanaba+Rの「授業計画表」ページから詳細が閲覧できます。 If "Other" is displayed in "How to Communicate with the Instructor", students registered to take this course can view details on the instructor's contact information in Course Schedule on the manaba +R website.		
備考 / Other Comments		
拡張項目		